

類別:医療用品(05) 副木

一般医療機器/真空成型式副木 (JMDN コード 35358000)

ボディーフィックス・スプリント

【警告】

本製品は、火気のある近くでは使用しないでください。
(火災・火傷の恐れがあります。)

【形状・構造及び原理等】**1. 各部名称**

- ①スプリントL
- ②スプリントM
- ③スプリントS
- ④バキュームポンプ
- ⑤収納バッグ

2. 寸法(約)

- ①800×800mm
- ②550×600mm
- ③480×400mm

3. タイプ別構成

MEF100AY ①②③⑤各1個 ④2個
MEL110AY ①1個
MEM120AY ②1個
MES130AY ③1個

4. 使用条件

常温・常湿

5. 動作原理

密閉されたスプリント内のビーズ状のスチロールが、内部空気を吸引することにより、各ビーズの間隔が狭くなり固定される。弁を開放することにより元の状態に復元される。

6. 材質

スプリント本体

外部:TPU、ポリエステル、ナイロン

内部:発泡スチロール、ポリエステル

ポンプ外部

内部:シリコンゴムパッキン SUS304

ホース:PVC

7. 包装

各型式について1式単位で梱包

【使用目的又は効果】

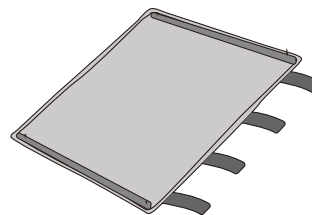
受傷した身体部分を固定するために用いる器具をいう。受傷した部位の周囲に設置して本品から空気を抜くことによって固定する。

【使用方法等】**〈使用前準備〉**

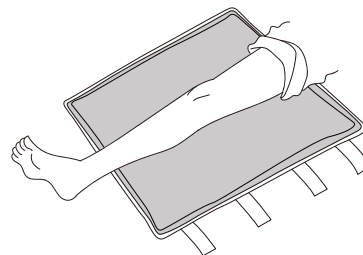
1. 要救護者の四肢に合わせた3種類から状態を確認の上使用する。
2. スプリントを広げ内部ビーズを均一にする。均一になったらビーズの自由な移動を防ぐ程度の予備吸引をし、減圧する。

〈使用方法〉

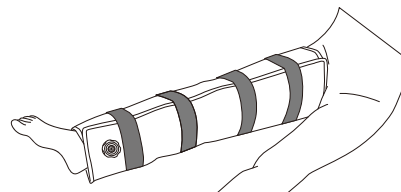
1. 負傷した身体の一部を露出させ、外傷の状態を確認し、必要であれば肢位の修正(骨折の場合)、創傷周囲の洗浄・異物除去(創傷の場合)を実施する。血液や体液が出ている部位を巻く場合は、滅菌ガーゼなどを当てて巻く。
2. 負傷患部用のスプリント本体を準備する。



3. 収納時に減圧してある場合は、専用バルブのキャップを外しバルブ操作でエアを入れ、スプリントを広げ内部ビーズを均一にし、バキュームポンプでビーズの自由な移動を防ぐ程度の減圧を行う。
4. スプリントを要救護者の負傷患部の下に当て患部を巻き付ける。



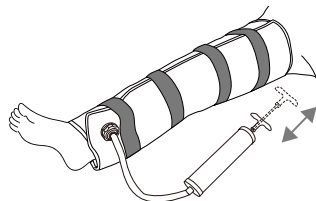
5. 患部を本器で巻き付け仮固定します。
6. 本器が硬く操作が困難な時は、専用バルブを操作し適切な硬さに変更する。吸引バルブを緩めて本体に空気を戻した後、患部を定着させ4カ所面ファスナーで固定します。



7. バキュームポンプの先端を、吸引バルブに垂直にしっかり奥まで差し込む。



8. 患部に定着したら空気を吸引し固定します。



9. 面ファスナー4カ所を締めなおします。

〈ポンプの使用法〉

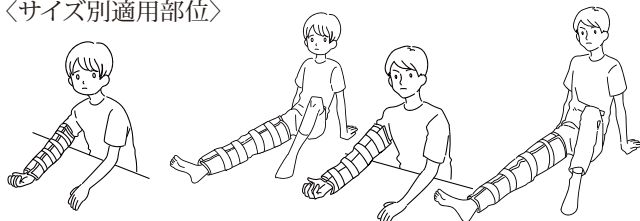
バキュームポンプのホース先端を描くスプリントの吸引バルブに垂直に奥までしっかり差し込みます。

〈装着後のテスト〉

吸引してもスプリントが固まらない場合（空気が抜けない場合）考えられる原因と対処法

- ①吸引バルブが緩んでいる→締め付ける
- ②スプリント本体の破れ、ピンホール→目視で確認する
- ③ポンプ内部の摩耗破損→予備ポンプを使用する

〈サイズ別適用部位〉



小(S):子供の腕 中(M):子供の足、大人の腕 大(L):大人の足

〈使用後の処置〉

1. 本器表面の汚れを中性洗剤等で拭き取って、十分乾燥させてから専用の収納ケースに収納してください。
2. 収納の際は、軽く減圧すると体積が減り安易に行えます。
3. 減圧されている状態で無理に折りたたまないでください。破損する場合があります。
4. 保管時は、過度な力が掛からず、直射日光や高温多湿の場所を避けて保管してください。

【使用上の注意】

- ・要救護者の使用部位に合わせたスプリントを使用すること。
- ・装着する前には要救護者の身体より鋭利または硬いものを取り除くこと。
- ・本器以外に固定が必要な場合は、専用の固定具を使用すること。

- ・本器の装着は、医師及び医師の指示を受けた看護師及び救急救命士又は体位固定に関し専門的な知識を持ち本器の使用方法を熟知した者が行うこと。
- ・本器の装着は、要救護者の状態を確認しながら、二次的災害等の発生しない場所で行うこと。
- ・使用前後には、本器の状態を確認し、破損等を発見した場合は使用しないこと。
- ・鋭く尖ったもの（ガラス片、石）や針等、穴や傷をつける可能性のあるものの近くで使用・保管しないでください。
- ・装着時等、地面（床）等で引きずる行為は破損に繋がります。
- ・航空機等で使用中、高度により気圧の変化で本器の固定力に変化が出る場合がありますので、適切に対応してください。
- ・車載時等、マフラーなどの高温になる場所に保管すると本器が破損する場合があります。
- ・乾燥機（空気・ガス）は使用しないでください。
- ・洗浄時等に本器内部に水分が入らないように注意してください。

【保管方法及び有効期間等】

〈保管方法〉使用後の処置を参照

〈保管温度〉常温・常湿

〈耐用期間〉設定なし

【保守点検に係る事項】

- ・いつでも使用できるように保守・点検を実施してください。
- ・使用に必要な構成品は専用キャリングバッグに収納して保管してください。
- ・血液が付着した場合は専用のクリーナーで洗浄し、感染の危険性をなくしてください。
- ・本器は納品時の不良（製造工程及び原材料に係る場合）のみ交換等の対応をさせていただきますが、使用後の修理は行っておりませんので取り扱いには十分ご注意ください。

〈保守・点検の主な内容〉

項 目	内 容
スプリント	傷・変色・変質・ピンホール・破れ等異常が無いこと。
	湿り・汚れが無いこと。
バキュームポンプ	正常に作動すること。

〈廃棄〉

使用できなくなった本器は、医療廃棄物として自治体の規定に従って廃棄処理してください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：ファミリー・サービス・エイコー株式会社

住 所：長野県長野市居町 43-1

電 話：026-259-3101